

SDP埋設型枠工法

NETIS : KT-220044-A

特許 : 第 7177421号

SDP埋設型枠工法とは？

SDP埋設型枠工法は高耐久性埋設型枠「SDPフォーム」に固定したトラス鋼材を型枠の組立に活用することで、急速施工および後打ちコンクリートの確実な一体化を実現した施工技術です。

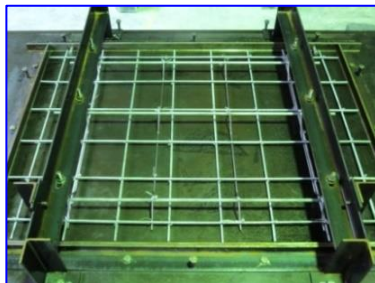
SDPフォームとは

Stainless steel bar reinforcement, Durable, Permanent Form

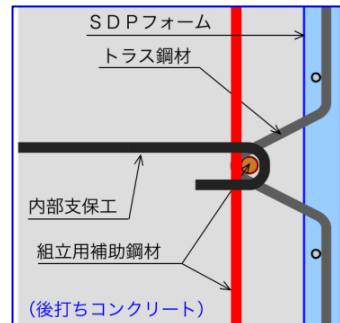
SDPフォームは、ステンレス鉄筋を補強材とした本体利用が可能な高耐久性埋設型枠で、現場施工の省人化・省力化、工期短縮およびコンクリート構造物の耐久性向上に貢献します。

埋込インサートに替えてトラス鋼材を活用することにより、施工性の向上および後打ちコンクリートとの確実な一体化を実現します。

▼ステンレス鉄筋の配筋例



▼内部支保工の固定



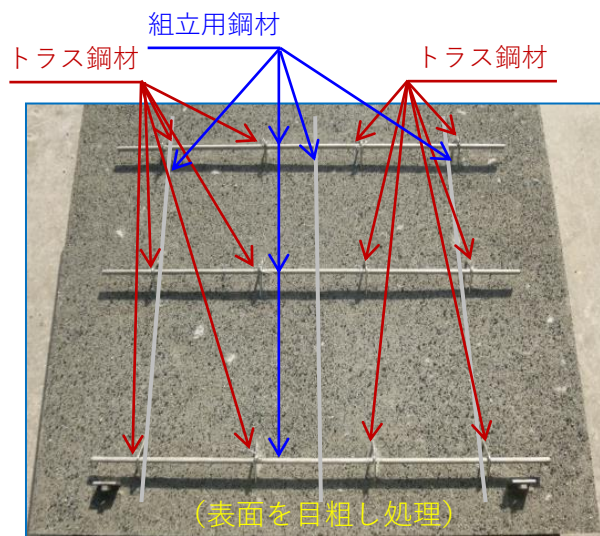
SDPフォームの特徴

- 耐久性が向上します
 - ・水セメント比30%以下の高強度モルタルを基材とし、表面から内部への劣化因子の侵入を抑制します。
- 後打ちコンクリートと確実に一体化します
 - ・トラス鋼材を内部支保工の固定に使用するため、後打ちコンクリートと確実に一体化します。
- 施工性が向上します
 - ・トラス鋼材はステンレス製丸鋼に山型の突起を設けたものです。内部支保工はトラス鋼材に固定した組立用鋼材の任意位置に取付可能で、施工性が向上します。

▼トラス鋼材



▼トラス鋼材と組立用鋼材の配置例



SDP埋設型枠工法の適用実績

■ 道路橋上部工の壁高欄



国土交通省近畿地方整備局発注
十津川道路今戸高架橋上下部工事

■ 鉄道ラーメン高架橋の上層梁部



鉄道建設・運輸施設整備支援機構発注
北陸新幹線、敦賀駅高架橋他工事

S D P フォームの製造

S D P フォームは鉄筋を補強材としているため、短繊維の混入率を小さくでき、基材モルタルの練混ぜのための特殊ミキサーは不要です。組立用鋼材は工場に取り付けて出荷します。

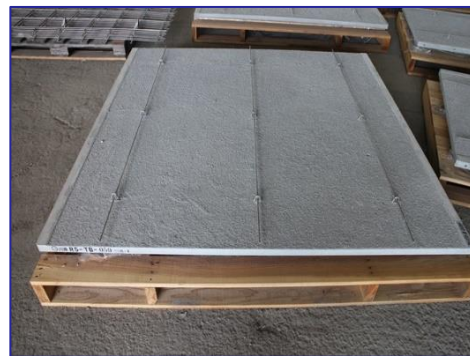
▼鉄筋及び鋼製型枠の組立



▼基材モルタルの打込み



▼組立用鋼材とトラス鋼材の接合



S D P 埋設型枠工法の施工方法 (壁高欄)

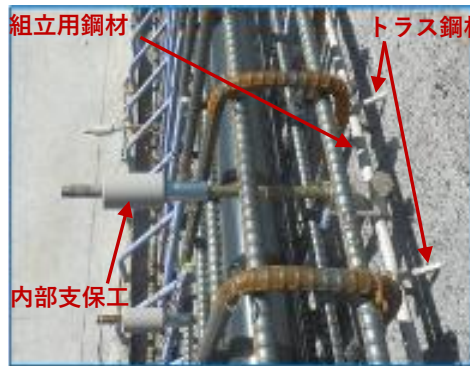
S D P フォーム(単体)の吊上げ
クレーンによる立起こしと移動



S D P フォームの設置・組立
トラス鋼材を型枠固定に使用



S D P フォームと在来型枠の固定
トラス鋼材と内部支保工を接合



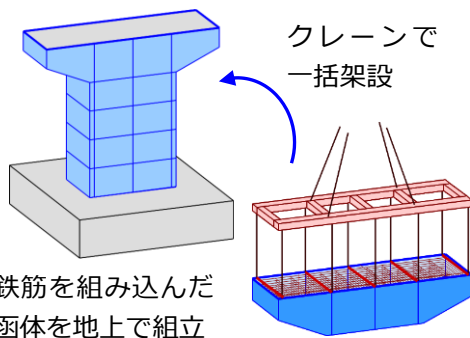
型枠のサポート設置は内側のみで、殆どの作業を上部工の床版上で行うことができます。

S D P 埋設型枠工法による合理化施工の推進

▼壁高欄のユニット化施工
(工場組立→現場に運搬・設置)



▼函体状型枠の一括架設
(橋脚の張出し梁の施工)



■ユニット型枠方式の適用

- ・ S D P フォームをユニット状に組み立てて現場で設置する方法により**急速施工**を促進します。
- ・ 函体内部に鉄筋および内部支保工を組み込むことため、高所での煩雑な作業を省略でき、**施工性と安全性が向上**します。

新世代 P C a 工業会

三和コンクリート工業(株) 新和コンクリート工業(株) 東栄コンクリート工業(株)

東京セメント工業(株) ランデス(株) 愛知製鋼(株) 愛鋼(株)

問合せ先 : 日本コンクリート技術(株) TEL 03-5669-6651